

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5
環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

環境政策課長 小池誠

電話番号

0852-22-5345

事務事業の名称	しまねの水環境モニタリング事業費	
目的	(1) 対象	県民・事業者
	(2) 意図	水質汚濁の防止を図り、県民の健康を保護するとともに生活環境を保全する。
事業概要	水質汚濁による県民への健康被害の未然防止及び生活環境の保全を図るため、公共用水域等の水質の定期的な監視並びに工場・事業場からの排水水の監視・指導等を行う。 ①公共用水域や地下水の水質の状況を監視するため、水質調査を行う。 ②県民の利用に資するため、水浴場の水質調査を行い、遊泳適否の判定を行う。 ③事業活動に伴う排水による公共用水域等の汚濁を防止するため、工場・事業場について、立入検査等により基準の順守状況の監視、指導を行う。 ④ゴルフ場で使用される農業等による水質汚濁の防止を図るため、ゴルフ場の排水水等を調査し、必要に応じてゴルフ場への改善指導に資する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	BOD又はCODに係る環境基準の達成率	目標値	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	%
	式・定義	環境基準達成水域数/環境基準指定水域数	取組目標値						
			実績値	88.2	88.2	85.3			
			達成率	103.8	103.8	100.4	-	-	%
2	指標名		目標値						%
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	13,359	15,700
うち一般財源 (千円)	13,359	15,700

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基いた現状)

公共用水域における環境基準達成状況について、健康項目は、すべての地点(10河川、3湖沼、10海域：全56地点)で環境基準を達成。生活環境項目は、環境基準の種類をあてはめている34水域(河川21、湖沼3、海域10)のうち30水域(河川20水域、湖沼0水域、海域9水域)で達成。地下水における環境基準達成状況について、新たに調査した7地点のうち7地点において環境基準を達成。海水浴場遊泳適否調査について、遊泳期間前に調査した結果、30海水浴場の全てにおいて遊泳に適した水質状況。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

公共用水域及び地下水に係る健康項目について、すべての地点で環境基準を達成。公共用水域に係る生活環境項目について、多くの地点で環境基準を達成。全ての海水浴場において、遊泳に適した水質。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

益田川や神西湖など、環境基準(生活環境項目)を達成していない河川や湖沼がある

②困っている状況が発生している「原因」

(現状について十分に把握できていないが)流入負荷が大きいためと思われる。

③原因を解消するための「課題」

污水处理施設の整備や接続等が進んでいない。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・事業活動に伴う排水による公共用水域等の汚濁を防止するため、工場・事業場について、立入検査等による基準の順守状況の監視、指導を行う。
(参考：污水处理施設の整備や啓発など生活排水対策の実施は、市町村の責務)

・公共用水域等の常時監視は、県民の健康及び生活環境を守るための基盤事業であるので、監視及び迅速な情報提供が確実に実施できるよう、必要な機器等の整備・更新を計画的に実施する。